MOON DAGGER·3

SYLPHID…!

颯（はやて） あきら

MOON DAGGER・3
SYLPHID…!
颯 あきら

ダッ
——っと！
たった拳一つ程しか浮けないなんてね
ドン！

魔法の国の王子らしくないよなあ…
シュダールカ？
あれは―!?
ガサッ
旅から帰ったシュダールカは
まるで別人の様だ…
さて城にもどろうか
サッ
サッ

魔を修める者
その額に宝石を受け
魔騎士となり
世界を流離う
シュダールカ！
王子！
旅の間で得しモノが
魔導師達に
認められた暁には…
魔導師となり
王を導く者となる
シルフィード王子！
変わってしまった
僕の従兄

王子！
ザザッ
御無事でしたか！
王女も近くにいらっしゃる筈だ探せ!!
えっ!?
王子…姫君は？
魔導師長ウアナル！フィーナがどうかしたのか？
王子を追われて森へ入られましたが…？
いや会っていない

フィーナ様を探すんだ!!
はい!
何だ…!? 嫌に物々しいな
シュダールカは…
ああ――彼なら…
邪に憑かれております!
邪!?

森には
シュダールカが
いるんだ！
フィーナを早く！
フィーナ様…
旅で何も…
得られなかった者は
邪に悪かれるという
シュダールカは
何も得られ
なかったのかな…？
—ええ
—王子
奴は若き魔導師を
殺害し…
その上…
狂ったか
シュダールカ！

狂う…？
——否！
——魔を総て
消してやる！
これが旅の答えだ
老いぼれた魔導師ども！
シュダ…
あーはは
私を止められるものか！

魔を消す…？
これ即ち王家を潰すという事…
王家の血筋に時折魔を持つ者が生まれます故
あれ？
もうそれも稀だよ

フィーナにしたって「占う」程しか出来ないし
風が何か語っている…
僕なんか皆無に近い…

血で御座います血が濃いほど魔は強うなり
そして若い程……

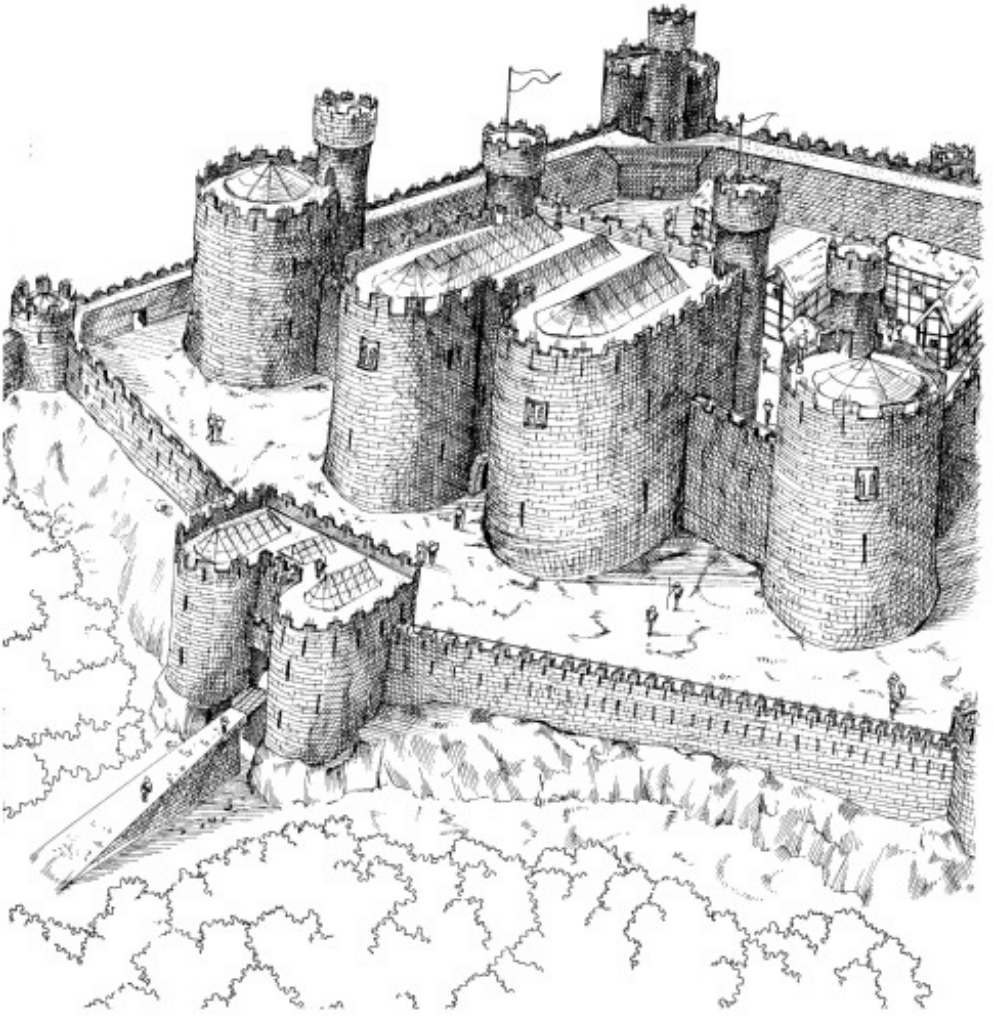
——王家の血？
魔が強くなる可能性が高いフィーナ様がより危険かと…

フィーナがほんの少し魔が強いから……？
それだけで…
それだけでフィーナの方が危ないのか！
残念ながら
王子！

ぐいっ
王子！
……
シルフィード様
貴方も狙われて
いるのですぞ！
ウアナル！
ボウッ
…邪魔を
するな…
ザアア…
魔…？
それとも
邪…？
いや王子の
これは―

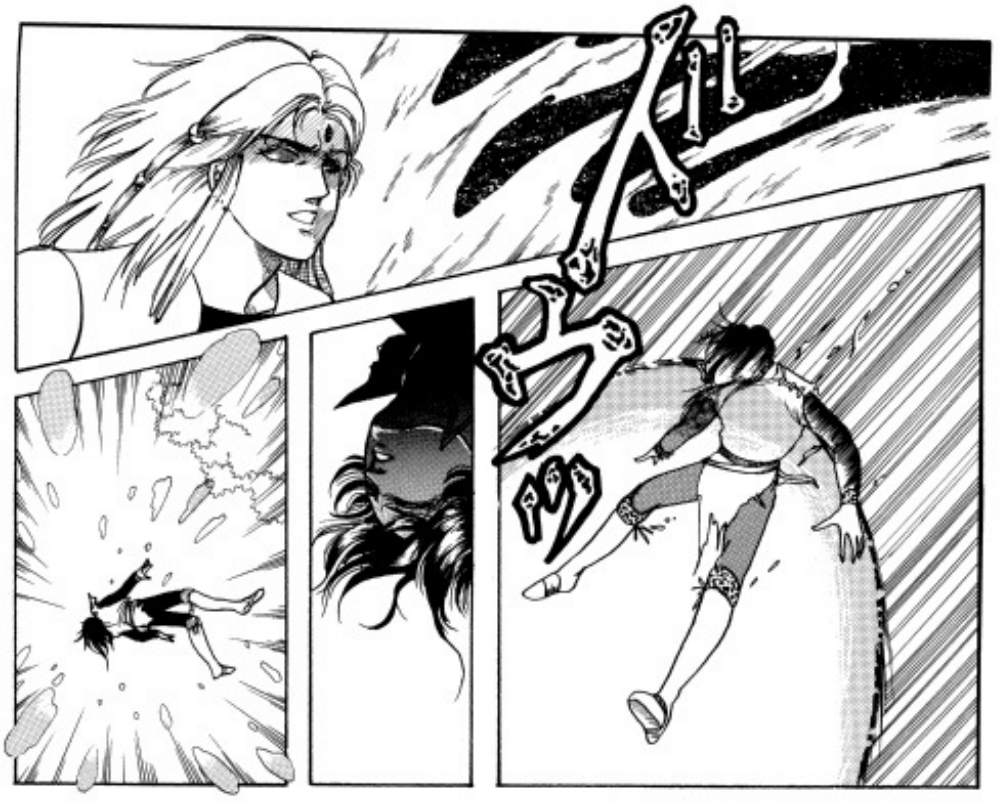
シュダールカ…？
王子！
見付けた…
ヒュウウウ…
これは…
何だ!?

風(かぜ)……？



シュダールカ…
ジュッ!
ううっ
フィーナは
返して
もらったよ…
はあ
はあ

……
シュダールカ？
シルフィード！
しっしっし
王子
いや
貴方は
死ななければ
スッ


ズ!!
ドン

風が
止まった？

しかし呆気ないな…
魔というのもこの程度の物か
シルフィード！
―誰・
シルフィード
淡く波打つ月光の髪―
―そして

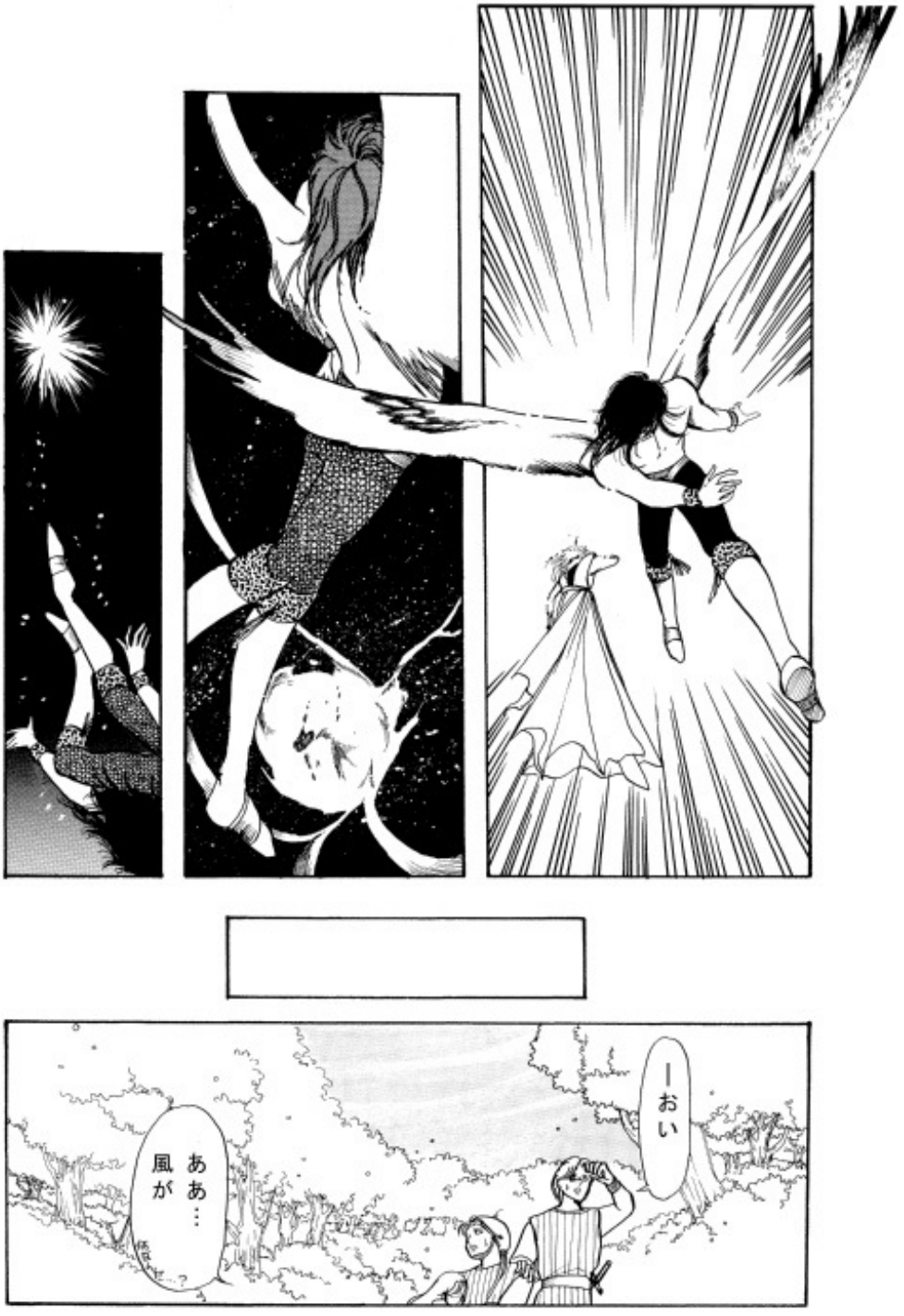
湖水色の瞳（アイスブルー・アイズ）
シルフィード
君は誰・
私の風使い（シルフィード）・
ザクザク
止めを刺してやるよ
シルフィード！

ゴオオオオオ
ない
何い・
これは―
魔ではない・
まさか…
この魂は・

名を持つ者……
―まさか…
パラスだと・

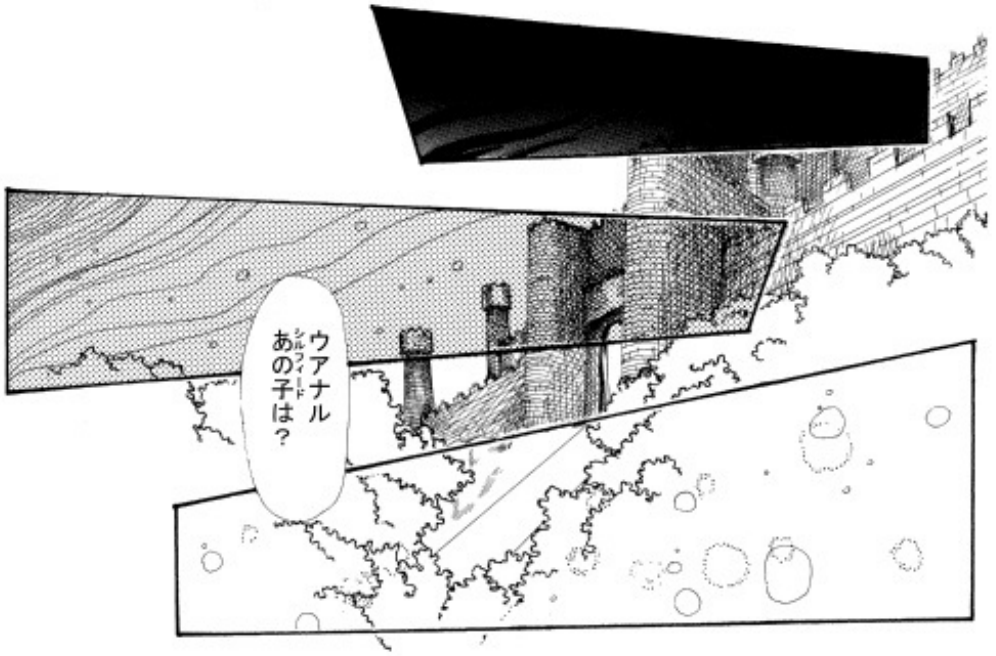
ゴウ
有り得ぬわ・
我々パラスが作りし世界…
邪ごときに…
潰させはせぬ！

ゴオオオ


ーおい
ああ…
風が

伝説は
唄う…

先ず時空有り
空・風・火・水・地有り
この名を持つ者
名を支配する者也
シュダ…カ
シュダールカ…
名を支配する者也


ウアナル
あの子は？

あれ以来
魔道の塔へ
隠られたまま
私ですら
立ち入る事が
出来ず…

王？
シルヴェストル・カ・ロラルド これがあの子の本当の名だ…
鳳のパラス!?
「名を持つ者」は世界に影響を与えるという…

兄様！
シルヴェストル！
王子 その額は!?

魔騎士の印！
王…
お別れを
告げに
参りました…
旅に出るのか…
—シュダールカの
事であれば…
—否
これは風の
そして私の
意志です

南の国の
旅の終わりには
南の国の
伯父上の処にゆく
参りましょう

……
…ド？
シルフィード？
これはー？

どうかしたのシルフィード？
？
くすっ
明日には南の国に着くっていうのに変なの…

旅の終わりの既視感(デジャヴュ)…
何でもないよ！
FIN Nov 29 1988 AKIRA HAYATE

Moon　Daggeer　3　シルフィード

http://p.booklog.jp/book/77956

著者：颯
著者プロフィール：http://p.booklog.jp/users/wolf-joker/profile

感想はこちらのコメントへ
http://p.booklog.jp/book/77956

ブクログ本棚へ入れる
http://booklog.jp/item/3/77956

電子書籍プラットフォーム：ブクログのパブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社ブクログ